



10月が終わろうとしています。二学期は始まってはや二ヶ月、学期の半分を過ぎました。千代小祭り、運動会などの行事が目白押しの前半となりました。おそらくしんどいと思っていた子どももいたと思いますが、なんとかがんばり切ることができた子どもたちにとっては良い経験となったことでしょう。後半は少し落ち着いて学習に向き合えたらよいなと思っています。

バラエティーフェスタへの熱い思い

毎年恒例になってきている千代田中学校区バラエティーフェスタですが、今年も10月27日に楠小学校にて無事行うことができました。心配された天気も全く問題なく、晴天の中、多くの方々に参加いただき大盛況のうちに終わることができました。

このバラエティーフェスタは今年で22回目の開催となります。健全育成会が中心になって実行委員会を立ち上げ、企画・運営しています。当日、健全育成会の方に「今年はたくさん参加されていますね」と話しかけたら、「いやいや、昔は2000人集まっていたで〜」と教えてくださいました。この言葉から“たくさん集まってもらって地域みんな、子どもたちを楽しませることができているんや”という誇りのようなものを感じ取ることができました。

今年の取り組みも7月の健全育成会の役員会から話し合わせ、7月・8月・9月の実行委員会、そして10月のスタッフ会議と長丁場の取り組みになっています。だからあれだけ大きな楽しめるフェスタになっているのです。そして今年と同じ日に衆議院選挙が行われることが8月に分かり、実施するかどうかを話し合いました。そこで「やれる範囲で実施しよう」となりました。選挙で来校される車の対応も駐車場係を決めて安全を確保していました。また、本校PTAの学級委員さん、地区委員さん、役員さんにもお手伝いいただきました。

すてきだなと思うことが、多くの大人が、子どもたちが楽しめるために「主体的」に動いている姿です。みんなで盛り上げようという気持ちをいたるところで感じることができました。このすてきな大人の姿と、千代田小運動会での6年生の姿と重なって感じていました。

地域をつくる 社会をつくる主体者に

バラエティーフェスタを主体的につくることと社会を主体的につくっていくことは基本的には同じだと思っています。それは運動会を主体的に作っていくこととも同じです。

選挙の翌日には、バラエティーフェスタの話とともに選挙の話も学年に応じた形でクラスでしました。今回の衆議院選挙の投票率は53.85%でした。これは戦後3番目に低い投票率だそうです。学校では子どもたちを民主的な人間に育てたいと思っていますが、その第一歩が主体的に社会を創る意識を持つことだと思います。その意識を表すためには選挙に行き投票する必要があります。主権者教育と言われますが、学校では機会があるときに選挙について、社会について、話をしていきます。